

放課後等デイサービス自己評価表2023年度〈職員集計〉

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1		
	2	職員の配置数は適切であるか	5	1		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	3	2	・段差を注意するよう掲示している
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6			・支援会議の中で全職員で共有している
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			・送迎時等で保護者から出た意見は打ち合わせ等で共有して話し合っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	3	2	
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			・年間計画と随時の研修を行っている ・救命措置のやり方等、いろいろな観点から必要な事を考え研修の機会を設けている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			・日々、職員間で知りえた情報交換を行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2		・施設に合ったアセスメントツールを作成し使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			・活動プログラムが適切であるか職員同士で相談し合っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1		・季節ごと、週ごと、長期休みごとに工夫してプログラムを決定。 ・固定化しないよう努力しているが、例えば手先の訓練関係等、提案しやすい物が多くなってしまっている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6			長期休暇の前等、早めに活動予定を決めて話し合っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			・集団、個別、グループ活動、作業療法を組み合わせ計画・実行。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			・毎日、児童の到着前に時間をかけて打ち合わせをしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	1		・今後、支援方法についての相談をこの場でも積極的にしていきたい。 ・送迎の関係で全員で振り返りを行うのは難しいが、1人だけ知っている状況にならないように誰かに伝える様に意識している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			・毎日、利用児童個々の記録を付け、当日及び翌利用日に支援の振り返りや改善点を話し合いしている。 ・作業療法の記録も毎回取り、保存している。
18	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			・半年に一度、状況により随時のモニタリングを行い、保護者やスタッフと共有している。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	1			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	1	5		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6			・下校時刻のダブルチェック、学校送迎時に先生への情報交換等、積極的に働きかけている。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	5		・現在は医療的ケアが必要な児童がいない。受け入れられる体制が整っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	5		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	3		・その状況になった場合の準備はしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2	1	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	4		・地域の子供食堂で交流の機会がある。 ・地域の公園等で間接的にかかわる事がある。 ・コロナがあげ、地域の子供食堂を利用する等、少しずつ交流する機会が増えてきた。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		4	2	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			・日頃から連絡帳、送迎時、モニタリング時等で様子を伝えあっている。 ・送迎や連絡帳にて実施出来ていると思う。 ・モニタリングや送迎時等でコミュニケーションをとっている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	1	1	
保護者への説明責任	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		4	2	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1		
	35	個人情報に十分注意しているか	6			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			・日々改善して、よりコミュニケーションがとれるようにしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関われた事業運営を図っているか		2	4	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			・定期的に避難訓練やスタッフの救急研修をおこなっている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			・身体拘束適正化委員会を開き、決定した上で保護者に説明と同意を頂き、計画実行し記録している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2		・保護者と情報を共有し対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			・事故防止の観点からもヒヤリハット事例として、その都度共有している。